

## 第38回 海外子女文芸作品コンクール 募集要項

- 主催：公益財団法人 海外子女教育振興財団
- 後援（申請中）：文部科学省 日本放送協会
- 協賛（申請中）：（公財）JFE21世紀財団 東京海上日動火災保険（株）  
日販アイ・ピー・エス（株）（一財）日本児童教育振興財団  
（株）読売新聞東京本社 クラーク記念国際高等学校

### 1. 応募資格

保護者の海外勤務等に伴い、現在海外で学んでいる日本の義務教育相当年齢の児童生徒  
（2002年4月2日～2011年4月1日に生まれた者）

※相当学年が不明な場合は別紙「学年対照表」を参照ください。

### 2. テーマ並びに募集部門と点数

（1）テーマ：海外生活を題材にしたものであれば自由です。

（2）募集部門と点数：

1) 作文・詩・短歌・俳句の4部門

2) 1人で何部門でも応募可能。但し、一人あたりの応募できる点数は以下の通り

作文	1人1点 小学生：2, 000字以内（400字詰原稿用紙5枚以内） 中学生：3, 200字以内（400字詰原稿用紙8枚以内）
詩	1人1点 小・中学生とも1, 200字以内（400字詰原稿用紙3枚以内）
短歌	1人3点以内 ※所定の応募用紙を使用
俳句	1人3点以内 ※所定の応募用紙を使用

### 3. 募集期間

2017年（平成29年）5月1日～7月15日（当財団必着とします）

※郵便事情等を考慮の上、確実に届くようにお送りください。

配達状況を追跡できる送付方法のご利用をお勧めします。毎年、遅配や住所不備などで返送され、締め切りに間に合わないケースがあります。

なお募集期間中は、当財団ホームページ（財団HP）にて各校の作品の到着状況を掲示いたしますのでご確認ください。（<http://www.joes.or.jp/bungei/index.html>）

### 4. 応募用紙

（1）作文・詩

- ・用紙は市販の原稿用紙または当財団HPより原稿用紙をダウンロードしたものを使用し、タテ書きで書いてください。
- ・用紙は表面のみを使用し、裏面は使用しないでください。
- ・応募作品は、各人各部門ごとに用紙を別にし、1枚の原稿用紙に作文・詩を一緒に書かないでください。
- ・応募作品には、所定の応募票を作品ごとに作品右肩に貼付の上、平とじ（原稿用紙を広げて右肩を一箇所綴じる）にしてください。
- ・用紙サイズは問いません。滞在国の一般的な用紙サイズで結構です。

（2）短歌・俳句

- ・所定の応募用紙を使用し、用紙印刷の際は「A4サイズ」に統一してください。

### 5. 応募作品の提出方法について

（1）日本人学校および補習授業校に通学の児童生徒の方

各学校に取りまとめをお願いしています。これらの学校に通学している方は、それぞれの学校に提出方法をお問い合わせください。

- (2) 日本人学校および補習授業校に通学していない児童生徒の方  
応募票の在籍校名には現在通学している現地の学校名を記入し、学年は在籍校の学年と、別紙「学年対照表」を参考に、日本での相当学年を記入し、作品と「コンクール応募用紙」（フォームA）、「集計表」（フォームB）を当財団宛送付ください。

- (3) お問い合わせ先および作品送付先

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

公益財団法人 海外子女教育振興財団 事業部教室事業チーム

KAIGAI SHIJO KYOIKU SHINKO ZAIDAN

Atago Toyo Bldg. 6F, 1-3-4 Atago, Minato-Ku, Tokyo 105-0002, Japan

Tel: +81-3-4330-1344 Fax: +81-3-4330-1355

E-mail: kyoshitsu@joes.or.jp URL: <http://www.joes.or.jp>

## 6. 応募上の注意事項

- (1) 応募作品は、応募者本人の創作によるものとします。  
(2) 応募作品は、応募者本人の自筆によるものとします。  
(3) 応募作品は、今回のコンクールのためのオリジナルなものに限ります。このコンクールの過去の応募作品や、他のコンクールや出版物で発表された作品、さらにそれらを書き直したものは認められません。  
(4) 応募作品は、返却しません。  
(5) 入選作品の著作権・出版権は、主催者に帰属します。

## 7. 審査基準

専門家により各作品の次の点に重点を置いて審査します。

- (1) 海外生活での新鮮な感動・実感や経験を踏まえたもので、適切な表現がなされた作品であること。  
(2) 年齢（学齢）にふさわしい作品であること。

## 8. 表彰

- (1) 各部門の優れた作品には、それぞれ文部科学大臣賞をはじめ、海外子女教育振興財団会長賞、日本放送協会賞、協賛者賞の各特別賞が授与され、そのほかに特選、優秀、佳作が選ばれます。ただし、できるだけ多くの児童生徒を顕彰する目的から、以前に文部科学大臣（奨励）賞または海外子女教育振興財団会長賞を受賞したことのある応募者の同じ部門でのそれぞれの賞の重複受賞はないものとします。  
(2) 入選者には、賞状が授与されるほか、優秀以上には記念楯と優秀作品集「地球に学ぶ」、佳作には記念メダルが贈られます。  
(3) 児童生徒数に比して多数の応募があり、かつ優秀な成績をあげた学校には、学校賞が授与され、賞状のほか副賞が贈られます。

## 9. 結果の発表

月刊誌「海外子女教育」誌上2017年（平成29年）11月号（予定）にて発表します。

## 10. 作品集の刊行

作品集「地球に学ぶ」（第38回）を刊行し、優秀作品を掲載します。

## 11. 経費

応募までの経費は、各自負担とします。応募後の審査に要する費用、入選者に対する賞状、賞品の発送までに要する費用は主催者が負担します。

以上

<別紙>

学年対照表・2017（平成29）年度

生年月日							応募票に記入する 日本の学年
2010年	(平成22年)	4月2日～	2011年	(平成23年)	4月1日まで	⇒	小学1年生
2009年	(平成21年)	4月2日～	2010年	(平成22年)	4月1日まで	⇒	小学2年生
2008年	(平成20年)	4月2日～	2009年	(平成21年)	4月1日まで	⇒	小学3年生
2007年	(平成19年)	4月2日～	2008年	(平成20年)	4月1日まで	⇒	小学4年生
2006年	(平成18年)	4月2日～	2007年	(平成19年)	4月1日まで	⇒	小学5年生
2005年	(平成17年)	4月2日～	2006年	(平成18年)	4月1日まで	⇒	小学6年生
2004年	(平成16年)	4月2日～	2005年	(平成17年)	4月1日まで	⇒	中学1年生
2003年	(平成15年)	4月2日～	2004年	(平成16年)	4月1日まで	⇒	中学2年生
2002年	(平成14年)	4月2日～	2003年	(平成15年)	4月1日まで	⇒	中学3年生